

ごみ減量の主な取り組みについて

No.	事業名	概要	実績	課題	今後の取り組み
1	食品ロスの啓発に関する事業 フードバンク事業 【令和元年7月開始】	まだ食べられるのに様々な理由で処分されてしまう食品を食品回収ポスト(7か所)により回収し、それらを必要とする子ども食堂などに届ける。	(R1) 回収量 10,462個 1,928kg 提供量 6,644個 1,080kg	・不適物の混入 ・回収スタッフ(ボランティア)不足	・活動の周知により適切食品の提供依頼及び回収量増加を図る。 ・事業者の協力による食品寄贈の増加を図る。
2	古着・古布のリサイクル推進事業 ・古着・古布回収事業交付金交付 【令和元年4月開始】 ・体操服のリサイクルモデル事業 【令和3年3月実施予定】	家庭で不用になった古着・古布を、各ふれあいセンター等に設置してある「古着・古布回収ボックス」(31か所)により回収し、工業用雑巾(ウエス)にリサイクルする事業者(セルブ藤山)に売却(5円/kg)。	(R1) 回収量 58,643kg(前年度比+9,728kg)	・不適物の混入	・事業周知により、回収量増加と不適物排除を図る。 ・地域への収益分配が回収量増加につながったことから、今後も地域活動への支援を継続する。
		回収された古着・古布の量に応じて発生した収益を、当該地区に対して交付金として分配(5円/kg)。	(R1) 回収量 41,353kg 交付額 206,765円		
		市内3校で実施。卒業時等で使わなくなった体操服を、学校内に設置した回収ボックスで回収し、工業用雑巾(ウエス)にリサイクル。	—		
3	子育て支援リユース事業	家庭で不用になった子供服・絵本、子育てグッズ、子ども用スポーツグッズ、学生服、学用品を市役所等(10か所)で回収し、リユースフェア等で希望者に無料で譲渡し、リユースの促進を図る。	(R1) <子供服・絵本> 回収量 3,572kg(前年度比▲674kg) <子育てグッズ> 回収量 1,845kg(前年度比▲185kg)	・利用者の固定化 ・回収量の減少	・利用者の増加を目指し、本事業のさらなる周知徹底を図る。
4	段ボールコンポスト普及促進事業 ・宇部市段ボールコンポストによる地域循環活動助成金事業 【令和2年8月開始】	宇部市環境衛生連合会との協働により、生ごみの減量化を推進するため、市民講習会・商業店舗等で段ボールコンポストの普及促進を行い、環境にやさしい循環システムの確立を図る。	(R1) 普及数 230個(前年度比▲175個)	・普及	・新たな利用者の開拓。
		宇部市環境衛生連合会が実施する、完成した堆肥を地域活動に利用する団体に段ボールコンポストを無料で交付する事業に助成を行い、さらなる段ボールコンポストの普及促進を図る。	(R2) 登録団体 22団体 交付数 179個	—	—
5	家庭系廃食油リサイクル推進事業	家庭用廃食油について、スーパーの店頭やふれあいセンター等(10か所)で回収し、バイオディーゼル燃料(BDF)に精製する民間業者に引渡しリサイクル。	(R1) 回収量 13,417ℓ(前年度比+1,907ℓ)	・特になし	・今後も引き続き廃食油のリサイクルに取り組んでいく。
6	使用済小型家電リサイクル事業 ・小型家電回収サービスの開始 【令和3年2月開始】	家庭で不用になった小型家電を各ふれあいセンター等(26か所)で回収し、入札により選定した認定事業者へ引渡し、再資源化の促進化を図る。	(R1) 回収量 6,496kg(前年度比▲5,479kg)	・不適物の混入	・事業について周知を徹底することで、不適物の混入を防ぐ。
		リネットジャパンリサイクル(株)と協定を締結し、宅配便による自宅回収を開始。	—	—	・新たに開始した事業者による自宅回収とこれまでの拠点回収をあわせて周知することで、回収量の増加を図る。
7	ごみ減量アイデアコンテスト	ごみ減量化につながる新たなアイデアを市民から募集し、減量効果が特に見込まれるものを活用することで、さらなるごみの減量化及び再資源化を図る。令和2年度は最優秀賞アイデアを実現化し、また募集アイデアの中から実用的な物を集めて事例集を作成。	(R2) 応募総数 112件(前年度比+90件) 応募者数 105人(前年度比+84人)	・アイデアの実用と市民周知	・事例集を活用し、市民アイデアの普及を図る。 ・実現可能なアイデアの実用化を推進する。
8	宇部市ごみ減量化機器等購入助成金 【令和2年11月開始】	家庭から排出される生ごみ及び剪定枝葉の減量化及び再資源化を推進するため、電動式生ごみ処理機又はガーデンシュレッダーを購入した市内在住の個人に助成金を交付。(助成率2分の1 上限額25,000円)	(R2) 申請者 62人	・助成対象及び基数の拡大	・可能なかぎり要望を反映させていく。
※	自治会清掃に伴う草木類リサイクル実証事業 【令和2年9月1日~9月30日実施】	民間事業者による継続的なリサイクルの可能性について検証を行うとともに、新たなリサイクルシステムの検討を図るため、自治会清掃により排出される草木類を対象にリサイクルの実証を実施。	(R2) 処理量 30.18t	・事業性	・家庭系は採算性から事業化が困難。事業系についてリサイクルの検討を継続していく。
※	宇部市指定ごみ袋のレジ袋代用実証事業 【令和3年3月実施予定】	レジ袋購入希望者に対して指定ごみ袋の販売も行い、消費者に選択してもらう。指定ごみ袋をレジ袋の代用とすることで、ごみの減量化を図る。	—	—	—

※は実証実験